

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/05/16

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.34	-0.23
JPY/THB	0.2346	0.0008
USD/JPY	154.88	-1.54
EUR/THB	39.55	-0.02
EUR/USD	1.0884	0.0065
USD/CNH	7.218	-0.022
SGD/THB	27.01	-0.04
AUD/THB	24.33	0.09
USD/INR	83.50	-0.01
USD Index	104.35	-0.67

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.516	-0.007
10Y (THB)	2.757	-0.007
5Y (USD)	4.345	-0.109
10Y (USD)	4.340	-0.099

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,394.9	35
WTI (Oil)	78.63	0.61
Copper	10,219.0	105.0

Stock

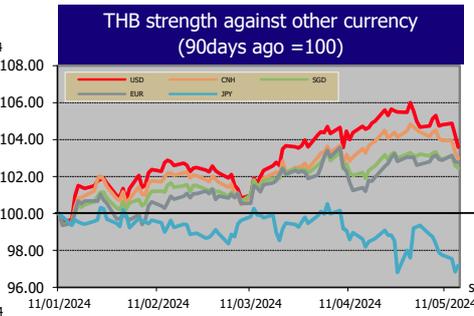
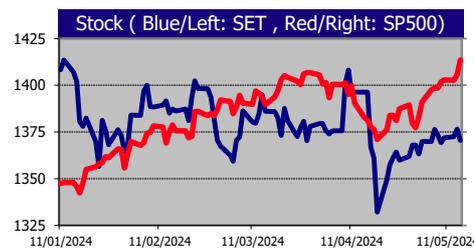
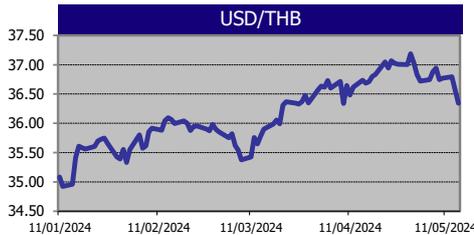
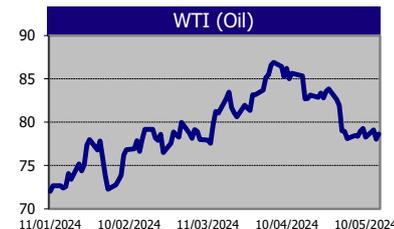
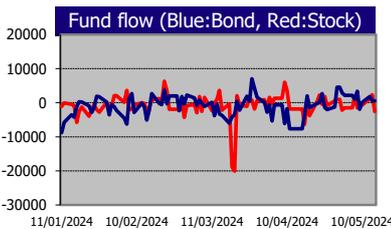
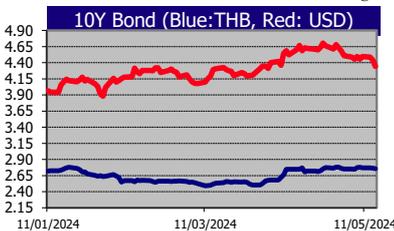
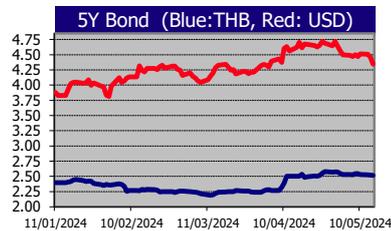
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,370.44	-6.13
NIKKEI (JP)	38,385.73	29.67
DOW (US)	39,908.00	349.89
S&P500 (US)	5,308.15	61.47
SHCOMP (CN)	3,119.90	-25.87
DAX(GER)	18,869.36	152.94

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,638)	-4940.1
Bond net flow	584	26.2

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

●昨日のドルパーツは下落。36パーツ半付近で取引を開始。前日海外時間に米金利が低下した流れを引き継ぐ格好で上値重く推移。ただ、米4月CPIの発表も控える中で、下値も限定的となり、狭いレンジでの推移が続いた。海外時間に入り、注目の米CPIはヘッドラインが前月比で市場予想を下回る結果となり、同時に発表された米4月小売売上高も軟調な結果であることが確認され、発表後はドル売り優勢の展開に。売りが一巡すると反発する場面を見せるも、勢いは続かず。終盤にかけて36パーツ台前半まで下落し、そのまま36.34レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

●昨日のドル円は下落。156円半付近の水準でスタートしたドル円は、海外時間に発表が予定されている米4月CPIに注目が集まる中、狭いレンジ内で推移。海外勢が参入してくると、米金利の低下等を背景にドル円は下落。米CPI発表前に155円台半ばの水準を付けた。注目の米CPIは同時に発表された小売売上高とともに弱さが意識される結果に。指標発表直後は上下動したものの、次第にドル売りが優勢の展開となり、終盤には154円台後半まで下落。結局154.88レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日、注目された米4月CPIは前月から伸びが鈍化するとの市場予想にほぼ沿った結果となった一方、同時に発表された米4月小売売上高が低調な結果となったことで、金融市場では米金利低下、ドル全面安の反応が見られた。単月の結果で米国がデフインフレーションの兆候を示したとするのは尚早と考えるものの、今回のCPIは米国が年内に25bpの利下げを2回実施するとの市場予想を補強したとの受け止めも見られることから、一旦はドル高材料出尽くしとして、これまでのようなドル買い一辺倒の流れが転換する可能性に留意しておきたい。また、円相場を見る上では、こうしたドルの強弱に加え、日本の10年債利回りの動向にも注意が必要だ。今週13日、定例の国債買い入れオペで日銀が購入額を減額したことを契機に円長期金利には上昇圧力がかかっており、ここから節目となる1%に届くかが注目されている。突如の減額は、足元の円安へのけん制と見る向きもあるが、これを量的引き締めへのサインと捉え、日銀の利上げ予想時期を9月から7月に前倒しする見方も出始めている。市場の焦点が米国の金融緩和に回帰するとともに、日本の金利上昇が加わってくれば、日米金利差の縮小を通じて為替市場を含むグローバルな資金の流れに影響を与える可能性もあるだろう。ここ数日のドル円が日米金利差の動きに沿っていなかったことも踏まえ、短期的にもドル円は下落リスクを見ておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.